

様式第1(第4条関係)

該当するもの以外は二重線で消してください。

特定施設設置 ~~(使用、変更)~~ 届出書

提出日を記載してください。

令和〇年〇月〇日

群馬県知事 あて

令和2年12月28日から押印及び押印に代わって行うことが可能とされていた署名は不要となりました。

個人の場合は、住所
法人の場合は、登記されている本店又は
主たる事務所の所在地を記入します。

届出者 住所 〒371-8570
群馬県前橋市大手町 1-1-1
名称 群馬県庁工業 株式会社
代表取締役社長 群馬 太郎

該当するもの以外は二重線で消してください。

氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名

ダイオキシン類対策特別措置法第12条第1項 ~~(第13条第1項又は第2項、第14条第~~
~~項)~~の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の 名称	群馬県庁工業株式会社 渋川工場	※整理番号	こちらの欄は記入 しないでください。
工場又は事業場の 所在地	〒371-1111 渋川市渋川〇〇	※受理年月日	
特定施設の種類の	5 廃棄物焼却炉 1 基	※施設番号	
△特定施設の構造	大気基準適用施設にあつては別紙1の水質基準対象施設に あつては別紙4のと 同く。	※審査結果	
△特定施設の使用 の方法	大で 施と す ・施行令別表第1(大気基準適用施設) の項番号又は別表第2(水質基準対 象施設)の項番号及び種類を記載しま す	考	
△発生ガス又は汚 水若しくは廃液 の処理の方法	大で 施と す ・施設が複数ある場合は、施設数 (基数)も記載してください。		

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、大気基準適用施設にあつてはダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第1、水質基準対象施設にあつては同令別表第2に掲げる号番号及び名称を記載すること。
- 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

別紙1

特定施設(大気基準適用施設)の構造

工場又は事業場における施設番号	1号焼却炉	
特定施設号番号及び名称	5 廃棄物焼却炉	
型式	〇〇社製 △△型	
施設の設置場所	〇〇棟 △△室 別紙図のとおり 等	
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	令和〇年〇月〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	令和〇年〇月〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	令和〇年〇月〇日	年 月 日
規模	原料の処理能力 (t/h)	
	変圧器の定格容量 (KVA)	あ設置届出の場合 ⇒ 着手予定年月日、使用開始予定年月日 使用届出の場合 ⇒ 設置年月日 変更届出の場合 ⇒ 設置年月日、(変更の)着手予定年月日、(変更後の)使用開始予定年月日をそれぞれ記載してください。
	炉の容量 (t)	
	焼却能力 (kg/h)	120 kg/h
	火床面積 (m ²)	0.8 m ²
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、令別表第1に掲げる施設に係る項目について記載すること。
- 3 特定施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付のこと。

特定施設(大気基準適用施設)の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		1号焼却炉	
使用状況	1日当たりの使用時間及び月使用日数等	9時～17時 20日/月	時～時 日/月
	季節変動	なし	
原料及び燃料 (ダイオキシン類の発生に影響のあるものに限る。)	種類	木くず、紙類	
	使用割合	木くず:80%、紙類:20%	
	原料又は燃料中の塩素分の成分割合(%)	0.002	
	1日の使用量	400kg	
排出ガス量(m ³ /h)		最大1200 通常800	最大 通常
排出ガス温度(°C)		150	
排出ガス中の酸素濃度(%)		15	
排出ガス中のダイオキシン類の濃度(ng-TEQ/m ³)		最大 3 通常 0.1	最大 通常
その他参考となるべき事項			

備考 1 廃棄物焼却炉にあつては、種類の欄には、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くずその他の廃棄物の種類を、使用割合の欄には、廃棄物の種類ごとの焼却割合を記載すること。

2 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態（以下「標準状態」という。）における量に、排出ガス中のダイオキシン類の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとす

る。

3 ダイオキシン類の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

4 その他参考となるべき事項の欄には、排出ガスの排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出ガス量の変動の状況を記載のこと。

発生ガスの処理の方法

工場又は事業場における施設番号	1号焼却炉集じん装置	
名称及び型式	〇〇製作所 △△△	
発生ガスの処理の内容	二時燃焼室で処理できないばいじんを集じんする。	
処理の系統	<pre> 焼却炉 ↓ 二次燃焼室 ↓ アルカリ洗浄 ↓ 乾式サイクロン ↓ 煙突 </pre>	
施設の設置場所	〇〇棟 △△室	
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	令和〇年〇月〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	令和〇年〇月〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	令和〇年〇月〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

2 発生ガスの処理に係る施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

特定施設(水質基準対象施設)の構造

工場又は事業場における施設番号	1号焼却炉 廃ガス洗浄施設	
特定施設番号及び名称	15号イ 廃ガス洗浄施設	
型式	〇〇製作所 △△△	
構造	鋼板製	
主要寸法	1.5φ×3m	
能力	1m ³ /時	
配置	別添のとおり	
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	令和〇年〇月〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	令和〇年〇月〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	令和〇年〇月〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

別紙5

特定施設(水質基準対象施設)の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	1号焼却炉 廃ガス洗浄施設			
設置場所	〇〇棟 △△室			
操業の系統	別添のとおり			
使用時間間隔	9時～17時			
1日当たりの使用時間	8時間			
使用の季節的変動	なし			
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	苛性ソーダ 10kg/日			
汚水又は廃液の汚染状態	通常	最大	通常	最大
	ダイオキシン類 5 pg-TEQ/L	ダイオキシン類 8 pg-TEQ/L		
汚水等の量(m ³ /日)	通常	最大	通常	最大
	50	80		
その他参考となるべき事項	ドレン水が排水となる。等			

ダイオキシン類の発生箇所からの汚水処理、排水までの工程をフローシートで添付してください。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	No. 1								
処理施設の設置場所	〇〇棟 △△室								
設置年月日	年 月 日	年 月 日							
工事着手予定年月日	令和〇年〇月〇日		年 月 日						
工事完成予定年月日	令和〇年〇月〇日		年 月 日						
使用開始予定年月日	令和〇年〇月〇日		年 月 日						
種類及び型式	工程廃水処理施設								
構造	鉄筋コンクリート								
主要寸法	〇〇×〇〇×〇〇mm								
能力	48m ³ /日								
処理の方式	活性汚泥、接触酸化								
処理の系統	別添のとおり								
集水及び導水の方法	別添のとおり								
使用時間間隔	9時～17時								
1日当たりの使用時間	8時間								
使用の季節変動	なし								
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	リン酸アンモニウム 〇kg/日								
汚水等の汚染状態及び量		通 常	最 大	通 常	最 大				
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
		1.0	0.1	1.0	0.1				
	量(m ³ /日)	10	42	13	45				
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥〇t/日 〇〇に委託								
排出水の排出方法	別添のとおり								
その他参考となるべき事項	外部への流出はなし。等								

ダイオキシン類の発生箇所からの汚水処理、排水までの工程をフローシートで添付してください。

備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。